



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月15日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL <https://www.amuse.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 柏木 伸裕 MAIL amuseir@amuse.co.jp
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,875	35.4	695	△12.8	805	4.4	292	△70.1
2022年3月期第1四半期	8,034	—	797	—	770	—	977	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 656百万円 (△52.2%) 2022年3月期第1四半期 1,372百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	16.93	—
2022年3月期第1四半期	56.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	49,233	37,124	69.9
2022年3月期	49,313	37,761	71.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 34,427百万円 2022年3月期 35,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.2	2,600	△9.7	2,700	△3.6	1,650	5.5	94.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	18,623,520株	2022年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,502,861株	2022年3月期	1,194,751株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	17,260,623株	2022年3月期1Q	17,426,610株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2023年3月期1Q288,160株、2022年3月期288,160株）が含まれております。また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期1Q288,160株、2022年3月期1Q290,527株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日公開しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔当第1四半期連結累計期間の経営成績〕

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	増減	増減率 (%)
営業収入	8,034	10,875	2,840	35.4
営業利益	797	695	△101	△12.8
経常利益	770	805	34	4.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	977	292	△685	△70.1

〔経営成績の分析〕

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の各種経済政策による効果や新型コロナウイルス感染症による影響が一時的に落ち着いたこともあり、景気が持ち直していくことが期待されました。しかし、ウクライナ情勢や金融資本市場の変動などによる影響を引き続き注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループの経営成績は営業収入108億7千5百万円（前年同四半期比35.4%増）、営業利益6億9千5百万円（前年同四半期比12.8%減）、経常利益8億5百万円（前年同四半期比4.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億9千2百万円（前年同四半期比70.1%減）となりました。前年同四半期に比べ、大型コンサートツアーが増加したことに伴いイベント収入が大幅に増加した他、印税収入、出演収入、CM収入等が増加したことにより営業収入は増収となりました。一方でイベント収入、出演収入、CM収入に係る営業原価が増加したことなどにより、営業利益は減益となりました。経常利益については、第1四半期連結会計期間より、株式会社MASH A&Rを持分法適用の範囲に含めたことによる「持分法による投資利益」の計上等により増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、「関係会社株式売却損」の計上及び「法人税等」の増加等により減益となりました。

＜営業収入＞

- ・ イベント収入が増加
- ・ レーベル収入が増加
- ・ 印税収入が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
- ・ 出演収入が増加
- ・ CM収入が増加

＜営業利益＞

イベント収入、出演収入、CM収入に係る営業原価の増加により減益となりました。

＜経常利益＞

「持分法による投資利益」の計上等により増益となりました。

＜親会社株主に帰属する四半期純利益＞

「関係会社株式売却損」の計上及び「法人税等」の増加等により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	4,049	5,595	1,546	38.2
音楽・映像事業	2,777	3,751	973	35.0
出演・CM事業	1,207	1,529	321	26.6
合計	8,034	10,875	2,840	35.4

(セグメント利益)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	210	235	24	11.6
音楽・映像事業	321	359	37	11.8
出演・CM事業	265	101	△164	△61.8
調整額	—	—	—	—
合計	797	695	△101	△12.8

【イベント関連事業】

営業収入55億9千5百万円（前年同四半期比38.2%増）、セグメント利益2億3千5百万円（前年同四半期比11.6%増）となり、増収増益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入：＜コンサート＞
福山雅治、宮本浩次、BEGIN、FLOW、Skoop On Somebody、藤原さくら、
神はサイコロを振らないのコンサートツアー
＜舞台・公演＞
熱海五郎一座「任侠サーカス ～キズナたちの挽歌～」
ブルーマングループ ワールドツアー IN JAPAN
ミュージカル「The Parlor」
舞台「もはやしずか」
- ・ 商品売上収入：BABYMETALのグッズ、ポルノグラフィティのグッズ、コンサートグッズなど
- ・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfume、ポルノグラフィティなど

＜営業収入＞

- ・ イベント収入の増加
（前年同四半期はBABYMETAL、宮本浩次のコンサート、TEAM NACS、地球ゴージャスによる公演など）
上記要因などにより増収となりました。

＜セグメント利益＞

イベント収入に係る営業原価の増加はあったものの、増収要因により増益となりました。

〔音楽・映像事業〕

営業収入37億5千1百万円（前年同四半期比35.0%増）、セグメント利益3億5千9百万円（前年同四半期比11.8%増）となり、増収増益となりました。

〔主な事業〕

- ・ 印税収入（新譜・旧譜）：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfume など
- ・ レーベル収入：福山雅治のオンラインライブBlu-ray&DVDなど
- ・ 番組制作収入：単発番組の制作受託など
- ・ 映像製作収入：イベント興行の中継及び上映収入など
- ・ 映像作品販売収入：吉高由里子主演ドラマ「最愛」などのBlu-ray&DVD販売収入

<営業収入>

- ・ レーベル収入が増加
（前年同四半期は@onefiveのオンラインライブBDなど）
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

〔出演・CM事業〕

営業収入15億2千9百万円（前年同四半期比26.6%増）、セグメント利益1億1百万円（前年同四半期比61.8%減）となり、増収減益となりました。

〔主な事業〕

- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、星野源、三宅裕司、大泉洋、安田顕、DEAN FUJIOKA、ホラン千秋、仲里依紗、吉高由里子、賀来賢人、吉沢亮、三吉彩花、堀田真由など

<営業収入>

出演収入及びCM収入の増加により増収となりました。

<セグメント利益>

出演収入及びCM収入に係る営業原価の増加により減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)	増減
総資産 (百万円)	49,313	49,233	△79
純資産 (百万円)	37,761	37,124	△637
自己資本比率 (%)	71.3	69.9	△1.4
1株当たり純資産 (円)	2,017.09	2,010.87	△6.22

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は492億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千9百万円減少いたしました。主な減少要因は、投資その他の資産「投資有価証券」の増加はありましたが、流動資産「現金及び預金」及び「未収入金」の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は121億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千8百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動負債「その他」の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は371億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億3千7百万円減少いたしました。主な減少要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による増加や「自己株式」の増加はありましたが、配当による「利益剰余金」の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は69.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月16日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,481	25,535
営業未収入金	4,887	6,550
商品及び製品	1,321	1,140
仕掛品	1,282	854
原材料及び貯蔵品	190	178
未収入金	3,271	2,434
その他	1,172	1,566
貸倒引当金	△153	△159
流動資産合計	39,454	38,099
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,821	1,859
土地	996	1,254
その他(純額)	563	910
有形固定資産合計	3,381	4,024
無形固定資産		
その他	431	419
無形固定資産合計	431	419
投資その他の資産		
投資有価証券	4,606	5,430
その他	1,573	1,387
貸倒引当金	△135	△128
投資その他の資産合計	6,045	6,690
固定資産合計	9,858	11,134
資産合計	49,313	49,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	6,707	6,546
未払法人税等	241	136
役員賞与引当金	31	—
従業員株式給付引当金	20	41
その他	2,969	3,772
流動負債合計	9,970	10,496
固定負債		
長期借入金	122	92
役員株式給付引当金	58	74
退職給付に係る負債	1,373	1,422
その他	26	22
固定負債合計	1,581	1,612
負債合計	11,551	12,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,284	2,284
利益剰余金	31,149	30,794
自己株式	△1,249	△1,872
株主資本合計	33,772	32,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,318	1,489
為替換算調整勘定	13	94
退職給付に係る調整累計額	50	49
その他の包括利益累計額合計	1,382	1,633
非支配株主持分	2,606	2,696
純資産合計	37,761	37,124
負債純資産合計	49,313	49,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業収入	8,034	10,875
営業原価	5,904	8,749
営業総利益	2,130	2,125
販売費及び一般管理費	1,332	1,429
営業利益	797	695
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	4	6
為替差益	—	40
受取手数料	0	—
補助金収入	1	6
持分法による投資利益	—	53
その他	4	4
営業外収益合計	13	112
営業外費用		
持分法による投資損失	28	—
為替差損	8	—
その他	2	3
営業外費用合計	39	3
経常利益	770	805
特別損失		
関係会社株式売却損	—	141
関係会社株式評価損	—	1
投資有価証券評価損	—	7
特別損失合計	—	150
税金等調整前四半期純利益	770	654
法人税、住民税及び事業税	56	121
法人税等調整額	△299	127
法人税等合計	△242	248
四半期純利益	1,013	405
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	113
親会社株主に帰属する四半期純利益	977	292

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,013	405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	304	171
為替換算調整勘定	55	80
退職給付に係る調整額	△1	△1
その他の包括利益合計	358	250
四半期包括利益	1,372	656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,336	542
非支配株主に係る四半期包括利益	36	113

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過期的な取り扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	2,045	—	—	2,045	—	2,045
ファンクラブ・商品売上収入	2,003	—	—	2,003	—	2,003
音楽収入	—	1,536	—	1,536	—	1,536
映像収入	—	908	—	908	—	908
その他音楽・映像収入	—	332	—	332	—	332
出演・CM収入	—	—	1,207	1,207	—	1,207
顧客との契約から生じる収益	4,049	2,777	1,207	8,034	—	8,034
外部顧客への営業収入	4,049	2,777	1,207	8,034	—	8,034
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	13	24	0	37	△37	—
計	4,062	2,802	1,208	8,072	△37	8,034
セグメント利益	210	321	265	797	—	797

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	3,296	—	—	3,296	—	3,296
ファンクラブ・商品売上収入	2,298	—	—	2,298	—	2,298
音楽収入	—	1,989	—	1,989	—	1,989
映像収入	—	1,425	—	1,425	—	1,425
その他音楽・映像収入	—	335	—	335	—	335
出演・CM収入	—	—	1,529	1,529	—	1,529
顧客との契約から生じる収益	5,595	3,751	1,529	10,875	—	10,875
外部顧客への営業収入	5,595	3,751	1,529	10,875	—	10,875
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	31	21	0	53	△53	—
計	5,626	3,772	1,529	10,928	△53	10,875
セグメント利益	235	359	101	695	—	695

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。